

政府統計の総合窓口(e-Stat)

政府統計の総合窓口(e-Stat)は、各府省が公表する統計データの取得、地図上に表示する機能等を備えた政府統計のポータルサイトです。



A 統計データを探す

目的とする統計データを探し、表やグラフで見たり、ダウンロードすることができます。



B 統計データを活用する

統計データをより便利に使えるよう、グラフや地図での可視化、地域の比較に特化した機能を使うことができます。



C 統計データの高度利用等

統計マイクロデータの利用、API等の開発者向け機能の紹介、調査で使用した調査票のサンプルなどを見ることができます。



1 統計ダッシュボード

統計ダッシュボードは、主な統計データをグラフや時系列などに加工して一覧表示し、視覚的にわかりやすく提供するWebサイトです。

- 公的統計が見える化、簡単な操作で利用可能
- 地域別や時系列での比較可能
- 利用者のニーズに対応



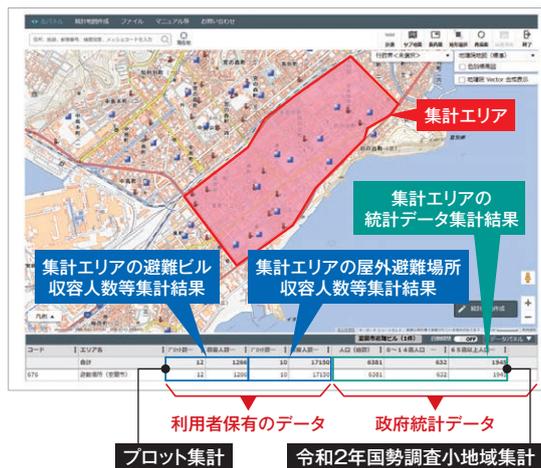
2 地図で見る統計 (jSTAT MAP)

詳細は次のページでご紹介します

地図で見る統計(jSTAT MAP)は、統計データを地図上で色分けして表示するなど、可視化することができるWebサイトです。主に以下の機能を提供しており、統計地図の作成、防災、施設整備、商圈分析等の地域分析に利用可能です。

また、他の地理情報システムで利用することができる境界データ等をダウンロードすることもできます。

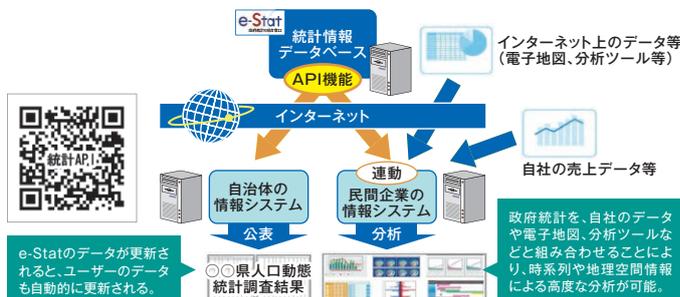
- プロット作成機能
- エリア作成機能
- 統計グラフ作成機能
- レポート作成機能



3 API* 機能

政府統計の総合窓口(e-Stat)のAPI機能を利用することで、e-Statのデータ更新に合わせたデータの自動取得やe-Statに収録された統計データと利用者の保有データを組み合わせた分析処理の自動化などが可能になります。

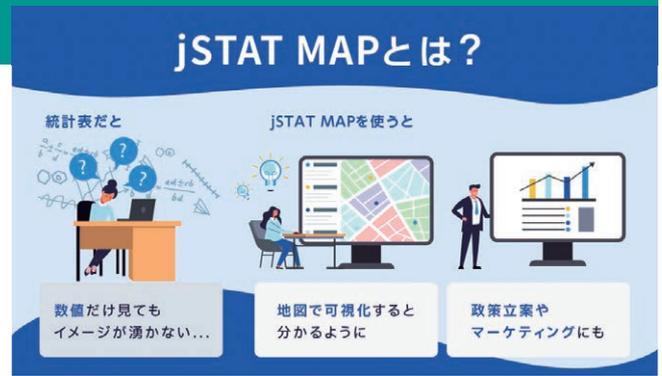
* API(Application Programming Interface) 外部のシステムが自動で統計データの取得ができるようになる機能



PICK UP!

地図で見る統計(jSTAT MAP)

地図で見る統計(jSTAT MAP)は、e-Statで提供している地理情報システムで、統計地図の作成など、利用者のニーズに沿った地域分析が可能となるような様々な機能を提供しています。防災、施設整備、市場分析等、詳細な計画立案に役立つ基本的な分析を簡単に行うことが可能です。

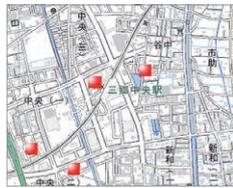


jSTAT MAPを活用するための主な4つの機能

プロット作成 機能

地図上に特定の「地点」を登録する機能

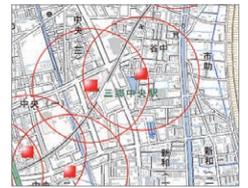
地図上をクリックし、一つずつ直接「地点」を指定することや、住所や緯度経度情報を持ったファイルを取り込むことで、一括で複数の「地点」を登録することができます。



エリア作成 機能

地図上に特定範囲の「エリア」を登録する機能

登録した「地点」を基準とした多角形・円・到達圏(徒歩〇分以内等)を「エリア」として登録することや、道路・河川・鉄道から一定の範囲について「エリア」として登録することなどができます。



統計グラフ作成 機能

地図上に統計データを表示する機能

統計データを地域ごとやメッシュ単位で、地図上に色分けして表示したり、円グラフ・棒グラフなどで表すことができます。登録した「エリア」ごとの統計データを集計することも可能です。



レポート作成 機能

統計データとグラフを使用したレポートを作成する機能

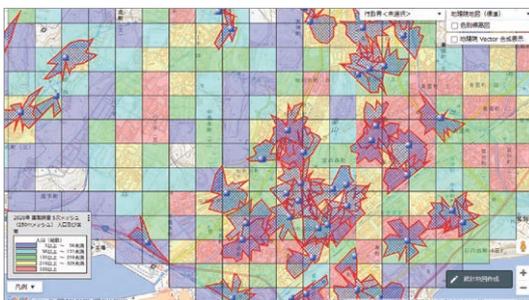
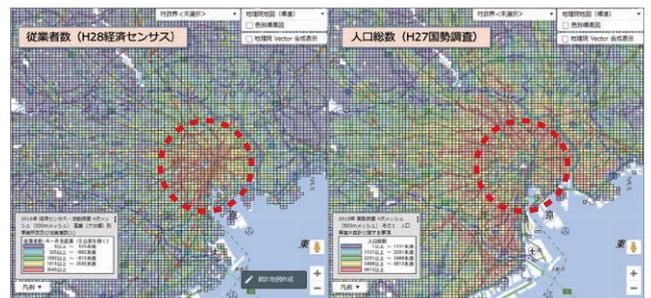
指定した範囲の統計データを集計し、出力することができます。利用者が選択した内容を集計する「シンプルレポート」と主要な統計データを自動集計する「リッチレポート」の2種類があります。



実際の使用例

1

2つの統計調査の結果を並べてメッシュ表示し、同一画面で従業者数と人口を比較できます。



2

避難所から徒歩5分圏内の「エリア」を作成し、メッシュ表示した人口と重ねて比較できます。



3

リッチレポート機能により、指定範囲の人口や産業の情報を一括で自動集計・出力できます。

